

若者が集いたくなる空間創出に向けた活動「La Lab（ららぼ）」の取組状況について

1 要旨・目的

昨年度から、広島都心会議において県・広島市と連携し、若者が集いたくなる魅力的な都心空間をつくることを目的とした取組（La Lab）を行っており、この度、紙屋町シャレオにおいて、若者が考案した活動拠点がオープンしたため、8月10日（月）より運用を開始し、空間活用のためのトライアルを実施する。

2 現状・背景

昨年度から、「La Lab」という名称で、大学や専攻の異なる大学生・大学院生等が集い、「若者が集いたくなる魅力的な空間」を若者自らが創出する取組を行っている。昨年度の活動では、空間づくりのトライアルや検証を重ね、空間のデザインや機能を決定した。

この度、空間の内装等の整備が完了したため、8月10日（月）より運用を開始し、空間活用のトライアルを実施する。



3 トライアル概要

(1) 実施主体

運営：広島都心会議 協力：広島県・広島市

(2) 実施期間

令和8年8月10日（月）から9月26日（土）

※上記期間中、La Labメンバーが指定した日時に実施

(3) 場所

紙屋町シャレオ 西通り「若者まちなかデザイン実験室 La Lab」

(4) 実施内容

今年度の活動では、若者の自由な発想により、新しい空間の活用方法を企画・検討しており、次の5グループに分かれてトライアルを実施し、その効果の検証を行う。また、検証結果を踏まえ、後期のトライアルを実施し、空間の活用方法を整理する。

- ① フリーコーヒーを提供し、偶発的な出会いと交流を生み出す。
- ② 洋服や布等のリメイクを通じ、若者間や世代を超えたつながりを生み出す。
- ③ 広島の魅力を再発見する来場者参加型フリーペーパーを作成し、まちと人の交流を促す。
- ④ スポーツ観戦を通じて、誰もがともに楽しめる場を提供することで、若者間や世代を超えた交流を促す。
- ⑤ 簡易的な遊具等を設置し、若者や子供、家族が気軽に立ち寄って楽しめる空間をつくる。

(5) 予算（単県）

10,000千円